

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



『備えあれば憂い無し。大雪被害に手厚い補償』

以前から加入していましたが、県内でも大きな災害が頻発していた事や、資材価格も高騰し始めていた事もあり復旧費用や撤去費用特約に加え、付保割合追加特約にも加入することにしました。

そんな中、令和3年2月の大雪でハウスが倒壊する被害に遭い、共済金を受け取りました。当時は経営面積の拡大やコスト低減など経営改善に力を入れ始めた最中の被害で不安でしたが、手厚い補償を受けることができ営農継続の力になりました。

近年県内でも夏場に大雨被害に見舞われるなど災害リスクを身近に感じており、園芸施設共済に加入し、もしもの時に備えておくことが重要だと改めて感じています。



秋田県湯沢市
村上 絢一さん

『大雪での全壊も、 特約の手厚い補償で早期再建』



広島県安芸高田市
(有) 援農甲立ファーム
光永 浩章さん

令和4年12月の大雪でハウス3棟が被害に遭い、2棟が全壊し、もう1棟も半分以上が押しつぶされました。復旧費用と撤去費用の特約を付けていたので、補償が手厚く、ハウスの建て替えなど、早期再建の後押しになりました。雪害以降、ハウスの内側にも補強を入れています。

野菜作物に特化した補償として、令和2年からは収入保険にも加入しています。近ごろはどのような災害が起こるか分からないので、長く続けていくためにも、支えになるものは必要だと思います。

『掛金の安いプランなど、 自分に合ったプランで共済加入』

高価な資産である園芸施設が予想外の被害に見舞われた際に保険で備えておくことが重要と考え加入しています。

とはいえ、掛金負担は抑えたいので、自力復旧の難しい大被害時のみ費用を捻出できればよいと割り切って考え、小損害不てん補50万円特約を付帯し、9割近く掛金を割り引いています。さらに、集団加入により賦課金が2割の割引になっています。このように、予算とニーズに合わせた保険設計できるのはありがたいところです。

園芸施設共済と収入保険、自分に合ったプランで加入することで計画的かつ安心感を持って営農することができています。



山口県長門市
尾崎 一成さん

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



『豪雨による附帯施設（暖房機等）の水没にも共済金が』

園芸施設共済には以前より加入していましたが、近年頻発している大規模な自然災害に備え、令和7年6月に附帯施設及び復旧費用特約への加入を決めました。

そんな中、令和7年8月に熊本地方を襲った豪雨により、暖房機をはじめとした附帯施設が水没してしまいました。もし附帯施設への加入を見送っていたらと思うと肝を冷やしました。

これまで、園芸施設共済は台風や突風による被害に備える認識でしたが、今回の大雨による被害のように、いついかなる災害が発生しても再建できるよう、備えておくことが大事と改めて感じました。



熊本県八代郡
野尻 靖貴さん

『特約加入で、ハウス全壊時に 思っていた以上の共済金』

台風シーズンの夏場はハウスのビニールを巻き上げているので大きな被害はなく、一時期は加入をやめようか悩んだときもありました。しかし、保険は入って当たり前という考えがあり、NOSAI職員の方々も大変よくしてくれるので、加入を続けていました。

そんな中、令和2年の4月に竜巻の被害に遭い、ハウスが全壊しました。NOSAI職員の勧めで復旧費用や撤去費用、附帯施設を補償する内容で加入していたので、思っていた以上に共済金が支払われ、本当に助かりました。

ハウスの近くには海や川があり、風の被害や冠水が起こりやすい場所ですが、園芸施設共済に加入しているので安心です。



高知県香南市
亀川 維彦さん

『小さな被害も補償され、 制度が良くなっていることを実感』

安心して農業経営をするために加入しました。

毎年、全国的な台風や大雨のニュースが気になるので、加入は安心感に繋がっています。NOSAI職員の方から制度改正について説明を受け、制度内容が良くなっていることは理解していましたが、実際に1万円特約を付帯したことで小さな被害から共済金を受け取ることができ、補償の充実を実感します。物価高騰により資材も値段が高くなっているので修理費用の足しにでき助かっています。

また、集団加入で申し込んでいるので割引があり掛金負担が軽減されるのも嬉しいポイントです。これからも引き続き加入していきます。



山口県周南市
津野地 茂雄さん

その他の声はコチラから



検索

園芸施設共済 声

農林水産省